

令和5年度第2回阿倍野区区政会議全体会（令和5年9月26日開催）でのご意見と対応一覧

番号	意見内容	対応（回答）	分類
1	【防災ジュニアリーダーについて】 防災ジュニアリーダーは、地域が一体となって募集し、育てるといいのではないかな。 （久保委員） 誰かの役に立つという喜びを感じられるよう防災士に関心を持ってもらうような方法も考えてはどうか。 （金光委員） ユニフォームをPR要素として募集してはどうか。 （東野委員）	防災ジュニアリーダーの募集については、中学生の防災研修等でのチラシ配付や区ホームページ等で行っています。また、地域からご紹介いただいた中学生も多数登録いただいています。中学生に興味を持ってもらえるよう防災に関する情報や防災ジュニアリーダーの取組紹介などを行い、ユニフォームの支給も含めてPRしてまいります。 防災ジュニアリーダーの情報を地域と共有することでまちなか訓練に防災ジュニアリーダーが参画する事例もあり、地域と連携しながら防災に関する若年層の意識向上を図ってまいります。	①
2	【防災リーダーの制服について】 防災リーダーの制服は生地が厚く汗だくになるのでポロシャツなどの夏季用制服を検討してほしい。 （東野委員）	災害用衣料は着用者の安全のために長袖で生地も厚目が基本となっています。夏季の訓練などでのご負担はあろうかと思いますが、地域防災リーダーの皆さんの安全確保のため、現行の防災服の着用をお願いいたします。	④
3	【災害救助道具の学習機会について】 阪南小学校の可搬式ポンプ庫に資機材も格納しておき、子どもたちがそういった資機材のことを知るといことも勉強になると思う。 （久保委員）	現状、阪南小学校の備蓄倉庫内に資機材ロッカーを格納していますが、可搬式ポンプ庫に資機材ロッカーを移設することは可能です。また、防災授業などの機会において、児童が資機材を知ることができるよう、学校とよく相談してまいります。	②
4	【防災資機材保管場所の鍵の保管について】 資機材の鍵の誰が持っているのか。 （東野委員）	救助資機材ロッカーは各災害時避難所に設置しており、鍵は災害時避難所の鍵一式と併せて3名の自主防災組織の役員の方にお渡ししています。	④
5	【非常時の食について】 災害時に発生する「無駄な食料」を抑制するためにも、日ごろからの家庭でのローリングストックの必要性を行政が積極的に発信する必要があると思う。 （北村委員）	ローリングストックについては、各家庭での最も重要な備えとして市民防災マニュアルや我が家の防災プランnaviの配布をはじめ、防災出前講座の際にも必ず推奨しています。引き続き、家庭での備えに関しての周知啓発に努めてまいります。	①
6	【非常時の排泄物について】 凝固剤を使った排泄物処理のPRがされているが、その保管や廃棄方法については検討されているのか。 東京のように排泄物をマンホールに流すことも検討されているようであるが、どのマンホールに落とせばよいかなどの情報が必要である。 （北村委員）	災害時の排泄物については、環境局より衛生面を最優先した対応に努めると聞いており、凝固剤処理した排泄物はできる限り速やかに収集されるものと考えられます。 マンホールに直接落とすという点については、マンホールトイレについてのご意見と解釈しますが、本市では、マンホールトイレは広域避難場所（近隣には、阿倍野区再開発地区、天王寺公園、長居公園）に整備していくこととして一定の整備は完了しています。	④
7	【停電への対応について】 停電時のソーラーLED街灯を阿倍野区が先陣を切って導入すべき。（北村委員）	道路管理者である建設局にご意見を引き継ぎます。	④
8	【公園での炊き出し訓練について】 一時避難場所である公園などで炊き出し訓練をしておくことは災害時の対応で重要なことの一つだと思うので区役所からの支援を求める。 （北村委員、二家委員、今井委員、金光委員）	公園は、各地域内の重要な一時避難場所であり、委員ご指摘のような炊き出しや飲料水など、物資の交付場所としても活用されると思われます。 そういったときに備えて、炊き出し訓練を行いたいという地域のお気持ちは大変心強く感じます。原則として公園内の火気使用は禁止となっていますが、防災力向上のための訓練であることや、消火器など、火災対応に備えていることなどの工夫をしていただく前提で区役所にご相談ください。 建設局に対して区としても必要な訓練であること、災害に備えた日々の活動をいただいている自主防災組織の皆さんのサポートとなることなどを局に添えて調整いたします。使用の内容により必ず許可されるということではありませんが、できる限り使っていただけるよう調整してまいります。	①

令和5年度第2回阿倍野区区政会議全体会(令和5年9月26日開催)でのご意見と対応一覧

番号	意見内容	対応(回答)	分類
9	【小学校体育館へのエアコン設置について】 昨今の猛暑を考えると体育の授業などで使用される体育館へのエアコン設置は必要。また、教育の観点からだけでなく、防災の観点からも必要と考える。 (森委員)(金光委員 事後意見)	大阪市会の令和5年度第2回定例会(6月8日)において、小学校体育館の空調設置についての質問に対して市長からは「小中学校の空調機設置につきましては、財政状況を考慮しつつ、適正な事業執行に努めてきたところでございます。ノーマライゼーションの観点から、全ての子供たちの教育環境を整えることが重要でして、それに加え、猛暑時に小学校へ避難された場合には、空調機のある普通教室や特別教室を活用することから、空調機が未設置の特別教室について、空調機を設置するとしたところでございます。一方、市全体におきましては、市設建築物の老朽化に伴い、建て替えや大規模改修等が必要となっており、その事業量が増大しておりますが、民間における技術者不足の影響を受け、工事発注が難しくなっている現状です。市全体の事業量や、民間事業者の状況を踏まえ、現時点で小学校の体育館に空調機を設置するという判断を下すことは難しいと考えております。まずは、未設置の特別教室への設置や既存の空調機の更新について、PFI手法により着実に整備を進めてまいりたい。」と答弁したところです。 まずは特別教室からとの設置方針ではありますが、区民の皆さまからの小学校体育館への設置を望むお声に関しては、機会を捉えて教育委員会へ届けていきたいと思っております。	④
10	【避難場所の確保について】 晴明丘南小学校付近に資材置き場になっている公園のような土地がある。売却などの方向ではなく、避難場所や子どもたちのための場所などにしてほしい。 (永岡委員)	ご指摘の土地は晴明丘南老人憩いの家隣接の市有地と思われ、ます。当該地を所管する建設局が地元と調整中と伺っております。	③
11	【自転車の通行について】 苗代小学校横の歩道橋のある歩道はかなり狭い。そういった歩道が狭くなっているところは、別の場所では安全対策として自転車が歩道を下りて車道の端を走行できるよう、車道の端をペイントして誘導しているところがあるので、阿倍野でもそのような対策はできないのか。通学路安全対策会議で検討課題に入れていただきたい。 また、阪南小学校では南港通り南側を東から歩いてくる子どもと病院の前を通る自転車がすれ違うには危険と感じた。 (金光委員) 学校に近いところは車道に自転車専用道路のマークを入れてほしい。(高岡委員)	ご指摘の歩道橋があり歩道が狭くなっている箇所は、現在、自転車が歩道を通行できる規制になっているため、車道に自転車レーンを設置することができない場所であることを確認いたしました。こうしたことから現地で自転車利用者に注意を促す掲示を行い、関係先の建設局や警察とも連携し、子どもの安全確保に向けて、どのような対応ができるか引続き検討してまいります。通学路の安全対策については、全市的な「通学路安全プログラム」に基づく点検を例年実施しており、各学校に危険箇所の照会を行ったうえで、学校、警察、工営所、区役所による現場確認を行い、対策を講じているところであり、特に危険と思われる箇所について重点的に対策を講じる必要がある場合は、「阿倍野区通学路安全対策会議」にて取り扱っているところです。	③
12	【ヘルメットの着用について】 阿倍野区内で自転車に乗った小学生が、車の事故にあった。ヘルメットの未着用のみが亡くなった原因のように報じられている。 着用率はどれくらいなのか。 ヘルメット着用が努力義務になったことをもっとPRしてほしい。特に子どもの自転車の前かごには入れてほしい。 (金光委員) 事故があったことが地域としても非常につらい。ヘルメット着用のPR、啓発をいかにしていくか、警察とも連携していただき、前向きに考えていただきたい。 (高岡委員)	事故後の具体的な対策として現地に設置されているカーブミラーを大きくしたり、また交通取り締まりの強化を図るなど迅速な対応がなされることを関係先である建設局及び警察より確認しております。さらに運転者への注意喚起を促す対応について、関係先と調整してまいります。 ヘルメット着用率は、大阪府は4.2%(全国平均:13.5%)となっております。 ヘルメットの着用について、児童や園児の安全の確保に向けた啓発活動を継続して取り組むとともに効果的な啓発に向けてどういったことができるかを警察等と連携して進めてまいります。	①
13	【迅速な対応について】 交通違反、交通事故が多いところのマップを作って、区民のみなさまが区内のどこが危険か情報を受け取れるようなものを早くアップロードしていただきたい。 様々な課題があると思いますが、命に関わることは最優先して取り組んでいただきたい。(高橋委員)	阿倍野区内の交通事故発生状況、自転車関連事故の多発地域につきまして、阿倍野区役所ホームページに掲載させていただきました。今後も区民のみなさまの安全安心につながる対応を迅速に進めてまいります。	①

令和5年度第2回阿倍野区区政会議全体会(令和5年9月26日開催)でのご意見と対応一覧

番号	意見内容	対応（回答）	分類
14	【スクールソーシャルワーカーの配置について】 スクールカウンセラーの増員は重要で、ありがたいことだが、生活面の問題や家庭での蓄積を考えると、カウンセリングの視点だけじゃなくて、スクールソーシャルワーカーの配置もお願いしたい。 (永岡委員)	大阪市では課題を抱えた子どもや子育て世帯を学校園で発見し、学校と区役所が連携し、保健福祉の支援制度や地域資源等の適切な支援に繋ぎ、子どもと子育て世帯を社会全体で総合的に支援する仕組みとして、大阪市こどもサポートネットを構築しております。 この事業実施に当たり、教育委員会が採用するスクールソーシャルワーカーが阿倍野区にも現在1名(本来は2名枠)配置されており、学校と連携しながら、支援を必要とする家庭・児童を適切な支援につなげるよう努めています。 欠員となっている残り1名のスクールソーシャルワーカーの配置についても、引き続き教育委員会に要望してまいります。 スクールカウンセラーにつきましては、ヤングケアラーや不登校児だけでなく、学校関係者のメンタルケアも重要ということで、非常に少ないとの意見もいただきました。常駐を目指してほしいという意見もありますが、人材確保も難しい中で、こういった代替策があるのか、研究してまいります。	①
15	【児童虐待防止対策について】 要保護児童対策地域協議会については、上手く連携できている区と連携が上手くいっていない区があるとお聞きしている。阿倍野区の現状はどうか。各団体、関係機関が日頃からしっかり連携して、虐待ケースやヤングケアラーなど、それぞれの深刻な状態について、子どもたちの家庭や置かれている状態を日頃から見守り、情報共有して支援してつながりをつくっておくと、要対協の活動が有効になっていくのではないかと。ぜひ、うまく生かして行ってほしい。 要対協の問題というのは、子どもだけでなく高齢者の場合、障がいを持っておられる方の場合と同じで、それぞれの分野ごとで、こういう仕組みがもっとできればいいなと思っておりましたので、ぜひご検討をお願いしたいと思います。 (永岡委員)	阿倍野区では、虐待の未然防止・早期発見・早期対応をめざし、児童虐待防止アウトリーチ事業を実施、幼稚園や保育施設等を訪問、他部署との情報交換等を積極的に行い、課題のある家庭・児童の早期発見に取り組むとともに、関係機関への支援を行っております。 また、虐待対応の専門家や、南部こども相談センター等の行政機関、区内保育施設の代表者等により構成される要保護児童対策地域協議会を定期的に開催し、課題を抱える児童、保護者、家庭を適切に支援する方法について、適時検討しています。 アウトリーチ事業により関係機関との連携を強化した結果、登録が必要な家庭、児童の把握が進んだことで、登録児童数は増えているものの、支援を必要とする児童、保護者、家庭に適時、適切な支援を行っているところです。 高齢者の課題については地域包括運営協議会、障がい者の課題については自立支援協議会を中心に関係者が集まり情報交換を行うとともに支援を行っています。また、複合的な課題がある場合は、課題に関わる部署が横断的に集まり「つながる場」会議を開催し課題解決に向けた検討支援に取り組んでいます。	①
16	【安全なウォーキング環境の整備について】 歩くことに関心が高い高齢者にとって、安全にウォーキングができる道が整備されることは、健康づくりに寄与することになり、安全・安心なまちづくりの具体的取組みになると考える。例えば、商店街の道をウォーキングに活用することはできないか。 (北村委員)	阿倍野区では地域全体の健康づくりの気運を盛り上げまして、区民の健康向上をめざすことを目的に、「あべのウォーク」を年3回、また老人クラブ連合会とウォーキングサポーターが地域主体で実施する「あべのちょこっとウォーキング」を行っております。コースの選定は、ウォーキングサポーター会議で決定されますので、団体で歩くという特性上、安全性や歩きやすさを考慮し、検討してまいります。 まちの魅力を再発見するための「お散歩」を提案する「おさんぽマップ」なども活用していただきながら、お散歩、歩くということを楽しんでいただければと考えております。	③
17	【アプリの活用にかかる高齢者のフォローについて】 お年寄りが日頃の運動を記録するに当たり、合理性から考えたら大阪府のアプリを使うほうが良いと思う。ただ、使ってみて、分かりにくいところや複雑さがあるので、到底お年寄りは使えないと思う。もし、アスマイルを使って健康のバロメーターをチェックすると考えているのであれば、説明会などをしないといけないと思うし、防犯面でいろんな問題が起こっているから、かなりのフォローが要ると感じました。 (北村委員)	健康のバロメーターをチェックする方法としてアスマイルを積極的に使用していただくため、高齢の方でもわかりやすいように周知方法を工夫する必要があります。現在、1階の健康情報コーナーにおいて、アスマイルの広報物を配架するとともに、アプリの登録方法等を図示した案内を置いております。	①

令和5年度第2回阿倍野区区政会議全体会（令和5年9月26日開催）でのご意見と対応一覧

番号	意見内容	対応（回答）	分類
18	【高齢者食事サービスについて】 高齢者の食事サービスは1人当たりの補助金額が少なすぎて、すごくやりにくく、ボランティアの方に負担がかかっている。補助金額の範囲ではすごく食べ物が寂しくなってしまうので、ボランティアの方が汁物等を作って提供する等工夫しているが、物価も上がっている中で補助金額がとても少なくて、やりづらい。 区役所は1人当たりの補助金額が少ないというのはどう思っているんだろうと思う。その金額でなんとか工夫してやってくださいよということなのか。その辺のことをどう思われているのか。区役所からの意見を聞きたいです。 （本庄委員） 補助金額最低限だと厳しい。今物価が上がってきて、お弁当の値段も高くなってきて、本当に無理だなということを何度も女性部長会議などで話をしている。個人負担を450円、か500円にしようとか切実な話がたくさん出てきました。 （森委員） 食事サービスについては、今相当物価が上がっていて、地域では本当に困っておられる状況であって、やはりコロナ禍の後、高齢者の方が会食にお越しになってる姿を見れば、委員の皆さんは少しでも工夫してお迎えしたいというお気持ちがあると思いますので、ぜひとも区役所の努力で、たとえ100円でも200円でも、上げていただくような形があれば、期待させていただきたいと思います。 （高岡委員）	高齢者食事サービスについては、平成30年度に、当時の利用料（個人負担額）の実態を踏まえて補助上限額を300円に増額しております。 現在の利用料と補助上限額との関係等について、各地域の実態の詳細を確認中であり、そのうえで方針を決定してまいります。	②
19	【区役所の支援の在り方について】 福祉・健康づくりの課題に対して、どうやったらすぐできるのか、やっぱり支援をすぐできる方向をまず考えていく、何かそこは共通で、みなさまで力を合わせて、区役所としても、今できることをぜひ進めていただきたいと思いますし要望をぜひ国や市へ伝えていっていただきたいと思いますと思っています。 （永岡委員）	福祉・健康づくりの課題への対応の1つとして、地域のつながりづくりについては、地域のみなさまと福祉事業所等の方々にも参加していただいて、福祉に関するご意見をいただく場を1月の中旬に開催を予定しております。	①
20	【路上喫煙対策について】 小学校の通学路沿いの喫煙について、こどもの受動喫煙につながるので大人が気を付けるように促していただきたい。 （金光委員）	路上喫煙禁止地区での啓発活動を継続的に行っております。ご指摘いただいた通学路沿いのこどもの受動喫煙については、関係機関と連携をしながら効果的な啓発活動を行ってまいります。	③
21	【各種ボランティア募集動画について】 区役所の動画で、40秒チャレンジで各種ボランティア募集の内容がありました。 少々早口でしたが、良く短い時間で発言できてあっぱれ思います。 できる事なら、最後に問い合わせ先まで発言もしくは、大きく画面上で見える様に、されたら良いと思いました。 検討お願いします。 （東野委員 事前意見）	動画をご覧いただきありがとうございます。問い合わせ先ではありませんが、ボランティア募集ホームページのURLを、動画の概要欄に掲載させていただいております。いただいたご意見については今後の動画作成の参考とさせていただきます。	④
22	【タブレット貸出事業によるアスマイル普及について】 アスマイルについて、現在、阿倍野区役所で実施している50歳以上を対象としたタブレット貸出事業（スマートシニアライフ事業）で、アスマイルを予めインストールして貸し出せばいいと思うが、タブレットの借受希望者はどれくらいですか。 （金光委員）	スマートシニアライフ事業では、今月から来年2月末までの間、タブレットを貸し出しており、当区では既に予定を超える364台の貸し出しを終えています。健康に関するサービスは予めインストールされていますがアスマイルは入っておりませんので、スマートシニアライフ事業の実施主体である大阪府に伝えます。	④
23	【ファンドレイジングについて】 予算が足りなくて必要な場合は公的な支援も大事だと思うが、今どうしても必要なのはファンドレイジングのような形で、力を合わせることもできればと思う。 （永岡委員）	事業の趣旨や目的に応じて、ファンドレイジングという方法も財源確保の手法のひとつとして研究してまいります。	④